

「新たに挑戦！農業は大きな可能性」



甚野 泰範 (40 歳) Uターン
(砥部町)

1 就農の動機・理由

実家が農家で幼い頃から農業を身近に感じていたが、周囲のアドバイスから仕事をしながら農業の手伝いをしていた。

地元砥部町の青年組織に勧誘され、農業で立派に生計を立てている諸先輩方と交流し、自分でも農業を仕事にしたいという思いが強くなり就農を決めた。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成 30 年)	現在の経営 (令和 5 年)	将来の経営 (令和 8 年)
労働力	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)	男 1 人(本人) パート 3 人
経営耕地	樹園地 50 a 水田 16 a	樹園地 75 a 水田 91 a	樹園地 75 a 水田 120 a
経営内容	ぶどう 10a 柿(7a) 40a たまねぎ 16a	ぶどう 10a 柿(7a) 65a たまねぎ 91a ブロッコリー 24a 水稲 16a	ぶどう 10a 柿(7a) 65a たまねぎ 120a ブロッコリー 60a 水稲 60a

○農業用施設

農業用倉庫 4 棟 1,000 m²
果樹棚 75a

○主要農業機械

たまねぎ移植機・収穫機 各 1 台
たまねぎ乾燥調製機 2 台

たまねぎ播種機 1 台
軽トラック 1 台
動力噴霧器 2 台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県砥部町
職歴 警備会社 等
就農研修歴

愛媛県立農業大学校

(H28. 4. 1~H30. 3. 31)

就農年月 平成 30 年 8 月

(2) 就農時の思い

父の柑橘園を継ぐ思いはあったが、柑橘だけでは経営が難しかったことや、自分自身も一から何か始めたいという強い気持ちから、新たに挑戦する思いでシャンマスカットとたまねぎ栽培に取り組んだ。就農できる気持ちが高ぶっていたこともあり、若干無茶な計画を立てたが、やり遂げて見せるという強い気持ちを持っていた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

技術習得のために農業大学校に入学、果樹研究センター実習で落葉果樹に関する知識技術を学べたことや、JA 指導員の方からの指導を基本にしている。

また地域の農家の方からのアドバイスを受けたり、書籍等で勉強しながら知識や技術習得に務めている。

(2) 資金の準備

農業大学校時には青年就農給付金の準備型を、また就農時には経営開始型を活用し経営を開始した。

(3) 農地・住宅の確保

一部親の農地を借りたが、町内を走り回って耕作放棄地を探した。

また農業委員会へ相談に行き、地域の委員の協力で地主から農地を借入し、そこから徐々に拡大していった。

(4) その他苦労したこと

耕作放棄地は町内の方々にあり農地確保は簡単に思えたが、思った以上に借入が難しく、放棄地であっても返すときは必ず農地として戻すという約束を交わしてようやく借入できた。また農業用機械が高価で、就農前に貯めていた資金の大部分を使うことになった。

5 農業経営の特徴

高齢になった両親の柑橘園を手伝いながら自分の経営農地を管理しているので、農業用機械を有効利用して省力化で効率よい農業を心がけている。たまねぎの後作に栽培が比較的容易な水稻やブロッコリーを栽培し、計画的な作付けを行っている。

6 これからの夢

大きな夢はないが、堅実な規模拡大を繰り返しながら、自分がどれだけ農地を管理できるか、どれだけの規模で経営していけるかを常に模索しながらどこまでも成長していきたい。

7 成功したキーポイント

近くに同じ品目を栽培している農家の方や、JA 指導員の方々に多くのアドバイスをいただきながら栽培に取り組めてい

ることが自分の大きな助けとなった。

また就農のきっかけとなった砥部町青年農業者協議会の会員の方々と農業を語り合うことで、不安の解消や様々な農業経営を知ることができたことも大きい。

8 就農を目指す方へのアドバイス

農業を始める前も始めた後も、思いもしない多くの問題が起きると思いますが、解決方法が必ずあるので、それぞれの問題を落ち着いて分析し解決方法を模索することが大事だと思います。

農業は大きな可能性がある職業だと思いますので、一緒に楽しく頑張っていきましょう。

○ 指導機関からのひとこと

砥部町青年農業者協議会のみならず地区や県協議会理事として幅広く活躍しています。自らの知見を活かして企画立案、運営実行まで積極的に取り組み、組織活動や砥部町新規就農者の定着を支援するなど、地域の担い手として頼もしい存在です。これからも地域のリーダーとしての活躍を期待します。

執筆機関

中予地方局農業振興課地域農業育成室
伊予農業指導班
電話番号 089-982-0477



たまねぎ苗の移植作業